

中央社会保障推進協議会 2024年6月5日 23-36号

110-0013 東京都台東区入谷 1-9-5 医労連会館 5階

電話 03-5808-5344 FAX03-5808-5345

メール k25@shahokyo.jp HP <https://shahokyo.jp/> **部内資料**

介護制度**改善**を求める国会請願署名 29万 3043筆を国会に提出

訪問介護費引下げ**撤回**を求める 3720の声、厚労省・財務省に提出

介護現場の声を届け、改善を強く要請



【写真】厚労省・財務省に「訪問介護費引下げ撤回を求める」要請書 3720 枚を提出

全日本民医連・全労連・中央社保協は6月3日、国会内で「訪問介護費の引き下げ撤回、介護報酬引き上げの再改定を求める要請書、及び介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善を求める国会請願署名提出集会を開催し全国から100名が参加しました。昨年秋から取り組んだ請願署名は累計29万3043筆に到達し、衆参あわせて29名の紹介議員に提出しました。

集会には宮本徹衆議院議員（日本共産党）があいさつ。この間の運動で厚生労働委員会では異例の「介護・障害福祉分野の人材確保及び定着を促進するための介護・障害福祉従事者の処遇改善に関する決議（案）」が決議されることが報告され、ともに介護改善運動をすすめる認知症と家族の会・代表委員の鎌田松代さんが連帯あいさつし、集会参加者を激励しました。

集会では4月10日から呼びかけ、短期間で全国各地から届けられた「訪問介護費引下げ撤回等をもと求める要請書」3720枚の声を、厚生労働省、財務省に直接提出しました。（写真上）長野や大阪の代表は地元であつめた訪問介護事業所アンケート結果をもとに、訪問介護の危機を訴えました。厚労省・財務省の代表は「皆さんの声をしっかり受け止めたい」と応じました。

その後、利用者の立場から年金者組合の雨宮さん、事業所の立場から京都民医連の阿部さん、労働者の立場から福祉保育労の民谷さん（写真）が、介護改善を切実に願う現場の声として発言。最後に全日本民医連の林事務局次長が、この間の介護改善のたたかいの経過と今後の行動提起を行いました。

今回の集会では機材及びネットワークのトラブルによりYouTube配信ができなかったことを深くお詫びします。近く中央社保協のホームページで動画をアップする予定です。

